

令和8年 死亡災害事例等

(令和8年9月30日現在)

1 死亡災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	1月 14-15	建設業	おぼれ 水	災害復旧工事において、雪で閉塞した仮水路の管の除雪を行っていた労働者3名が、水路内で休憩をとっていたところ、雪で堰き止められていた水が流れ出し流されたもの。 3名は救助されたものの1名が死亡し、2名が打撲等の負傷となったもの。	1名
2	3月 11-12	鉱業	はさまれ、巻き 込まれ 掘削用機械	整地作業で使用していたドラグショベルの履帯が外れたため、救援のドラグショベルを接近させ修理作業中、救援のドラグショベルを旋回させたところ、被災者が救援のドラグショベルと故障したドラグショベルとの間に挟まれたもの。	1名
3	5月 9-10	林業	激突され 立木等	被災者は樹高約30メートル、胸高直径80センチメートルの杉の立木をチェーンソーを使用して伐採する作業中、伐倒しようとしたところ、予定の伐倒方向と異なる方向に木が倒れ、倒れた方向の立木に激突した反動で当該伐倒木の根元が跳ね上がり、被災者に激突したと推定されるもの。	1名
4	6月 12-13	運輸交通業	飛来、落下 移動式クレーン	取引先の構内で、車両積載型トラッククレーンを使用して鉄くずの回収作業中、鉄くずの入った鋼製コンテナをつり上げていたところ、つりチェーンのフックがコンテナから外れ、荷台上でクレーンの操作をしていた被災者がコンテナと荷台との間に挟まれたもの。	1名
5	7月 22-23	その他の事業	交通事故 (道路) 乗用車、バス、バイク	運転代行業者に勤務する運転手ほか1名が乗用車で走行していたところ、反対車線にはみ出し、法面に衝突して、助手席に乗車していた労働者が死亡し、運転手が重傷を負ったもの。	1名
6	9月 13-14	建設業	おぼれ 水	建設中の建物の屋上の漏水試験のため前日から水張りを行っており、被災者は水張状況の確認に向かった際、排水管の中に右腕が吸い込まれ、顔が水に浸かった状態で発見されたが溺死したもの。	1名

2 一時に3人以上被災した災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	1月 14-15	建設業	おぼれ 水	災害復旧工事において、雪で閉塞した仮水路の管の除雪を行っていた労働者3名が、水路内で休憩をとっていたところ、雪で堰き止められていた水が流れ出し流されたもの。 3名は救助されたものの1名が死亡し、2名が打撲等の負傷となったもの。	3名
2	5月 22-23	製造業	有害物等との接触 有害物(特別規則対象物質に限る。)	製造工程で使用する塩酸の取替を行うため、塩酸をホースを用いて工場内に設置されている空のタンクへ移動させようとしたところ、苛性ソーダ及び過マンガン酸カリウムの混合液が入っているタンクに移動させてしまい、塩酸と混合液が反応し、発生した塩素ガスにばく露したもの。	4名

3 工業中毒等

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	1月 15-16	農業	有害物との接触 その他の危険物、有害物等	空調機能を備えた栽培舎内で、屋根部分の梁を補強するため、内燃機関を用いたアーク溶接機を使用して鉄骨を溶接していたところ、ふらつき等の症状が出たため、医療機関を受診し一酸化炭素中毒と診断されたもの。	1名
2	2月 19-20	製造業	有害物等との接触 有害物(特別規則対象物質に限る。)	ジクロロメタンの遠心分離及び乾燥業務中、通常は送気マスクを着用して作業を行っているが、被災者は防毒マスクを着用し吸収缶を交換しながら作業を行っていたところ、意識が朦朧となり倒れ、医療機関を受診し一酸化炭素中毒と診断されたもの。	1名
3	5月 22-23	製造業	有害物等との接触 有害物(特別規則対象物質に限る。)	製造工程で使用する塩酸の取替を行うため、塩酸をホースを用いて工場内に設置されている空のタンクへ移動させようとしたところ、苛性ソーダ及び過マンガン酸カリウムの混合液が入っているタンクに移動させてしまい、塩酸と混合液が反応し、発生した塩素ガスにばく露したもの。	4名
4	5月 10-11	製造業	有害物等との接触 有害物(特別規則対象物質に限る。)	自動車整備工場内で、被災者がトラックの下塗りを行っていた際に、下塗り剤が飛んでしまったため、洗浄剤(石油ナフサ含有)を使用し払しょく作業を行っていたが、防毒マスクを外して作業を行っていたところ、作業終了後に気分が悪くなり、医療機関を受診し有機溶剤中毒と診断されたもの。	1名